

2024年4月16日



自社植物工場「THE TERRABASE(ザ テラベース)」



「フードスクエアカスミ東茂原店」では、店舗で使用する電力を100%再生可能エネルギーで運営

サステナビリティ・リンク・ローン(SLL)契約締結のお知らせ

環境負荷を低減し、次世代に持続可能な循環型社会を引き継ぐための取り組みを推進します

ユナイテッド・スーパーマーケット・ホールディングス株式会社(本社:東京都千代田区、代表取締役社長:藤田元宏以下U.S.M.H)は、3月29日(金)、千葉銀行(本社:千葉県千葉市、頭取:米本 努)との間で、「サステナビリティ・リンク・ローン」(以下「SLL」)の融資契約を締結いたしました。

SLLは、サステナビリティ目標と整合した「キー・パフォーマンス・インディケーター(以下「KPI」)」と「サステナビリティ・パフォーマンス・ターゲット(以下「SPTs」)」を設定し、SPTs達成への動機付けを与えることで、環境的・社会的に持続可能な経済活動および経済成長の促進を目指すローンのことです。また、今回のSLLフレームワークは、当社のSPTs達成に向けた取組み支援について、他の金融機関に追加でご参加いただける枠組みとなっています。

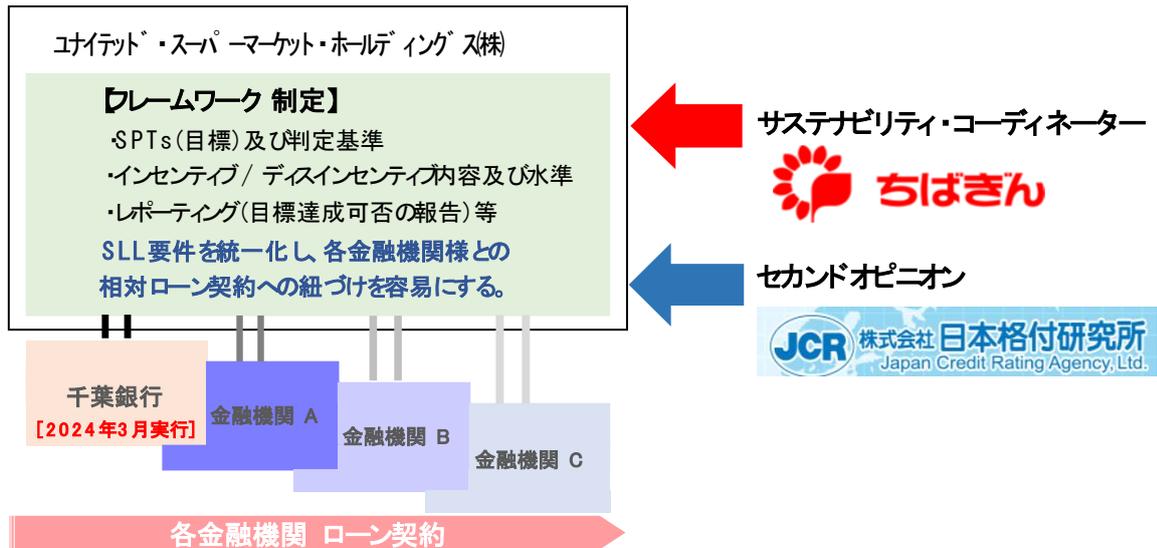
当社は、マテリアリティとして特定した「カーボンニュートラルの実現」と「廃棄物の削減と再生利用の推進」に向けた取組みを進めており、本SLLにおいて「電気使用によるCO₂排出量の削減」および「食品廃棄物排出量の削減」についてのSPTsを設定しました。これについて、株式会社日本格付研究所(JCR)より、国際的な原則である「サステナビリティ・リンク・ローン原則」等へ適合している旨のセカンドオピニオン※を取得しました。

こうした枠組みを活用し、引き続き当社では、事業活動を通じて生じる環境負荷を低減し、次世代に持続可能な循環型社会を引き継ぐことを目指して参ります。

※ 株式会社日本格付研究所(JCR)による第三者意見

(URL: <https://www.jcr.co.jp/download/d7023bfec0c3ba6ee49ec6c4042bce6ecd3d400e6e6639802d/23d1852.pdf>)

【スキーム図】



【サステナビリティ・リンク・ローン概要】

| | |
|---------------------------|---|
| 借入人 | ユナイテッド・スーパーマーケット・ホールディングス株式会社 |
| サステナビリティ・ コーディネーター兼貸付人 | 千葉銀行 |
| 実行日 | 2024年3月29日(金) |
| SPTs | ① 電気使用によるCO ₂ 排出量の削減 ② 食品廃棄物排出量の削減 |
| インセンティブ | SPTs 達成状況に応じた金利優遇 |
| 第三者意見 | 株式会社日本格付研究所 |

【KPIおよびSPTsの概要】 本件は、以下のKPIとSPTsを設定しています。

| KPI | SPTs | SDGs | | | | | | | | | | | | | | | |
|--|--|---------------------|--------------|-----|--------|---------|------|--------|---------|------|--------|---------|------|--------|---------|------|--|
| 電気使用によるCO ₂ 排出量 | 2025年度の電気使用によるCO ₂ 排出量を2020年度対比で34%以上削減すること | 13 気候変動に 具体的な対策を | | | | | | | | | | | | | | | |
| 食品廃棄物排出量 (食品廃棄物発生量より食品 廃棄物リサイクル量を減算) | 各対象年度の食品廃棄物排出量を下表数値以下に削減すること(2019年度対比での食品廃棄物排出量の削減率を下表数値以上にすること) | 12 つくる責任 つかう責任 | | | | | | | | | | | | | | | |
| | <table border="1"> <thead> <tr> <th>対象年度</th> <th>食品廃棄物 排出量</th> <th>削減率</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>2023年度</td> <td>8,000トン</td> <td>7.3%</td> </tr> <tr> <td>2024年度</td> <td>7,950トン</td> <td>7.9%</td> </tr> <tr> <td>2025年度</td> <td>7,900トン</td> <td>8.5%</td> </tr> <tr> <td>2026年度</td> <td>7,850トン</td> <td>9.0%</td> </tr> </tbody> </table> | 対象年度 | 食品廃棄物 排出量 | 削減率 | 2023年度 | 8,000トン | 7.3% | 2024年度 | 7,950トン | 7.9% | 2025年度 | 7,900トン | 8.5% | 2026年度 | 7,850トン | 9.0% | |
| 対象年度 | 食品廃棄物 排出量 | 削減率 | | | | | | | | | | | | | | | |
| 2023年度 | 8,000トン | 7.3% | | | | | | | | | | | | | | | |
| 2024年度 | 7,950トン | 7.9% | | | | | | | | | | | | | | | |
| 2025年度 | 7,900トン | 8.5% | | | | | | | | | | | | | | | |
| 2026年度 | 7,850トン | 9.0% | | | | | | | | | | | | | | | |

<サステナビリティの取り組み事例>

◎「食」の安定供給への取り組み～自社植物工場「THE TERRABASE(ザ テラベース)」～

「安心・安全」、「健康的」、「環境にやさしい」をコンセプトに、サステナビリティに配慮したプライベートブランド「Green Growers(グリーン growers)」を展開し、体にも環境にも優しい「ウェルビーイング」の実現を目指しています。



主な商品は、株式会社プランテック

クス(東京都中央区)と協働稼働の自社植物工場「THE TERRABASE」(茨城県土浦市)で生産するレタスです。密封された栽培装置、機械化された清潔な環境のもと、栽培時の水使用量低減化に取り組みながら、栽培研究技術によりレタスの生育に最適な環境で栽培しています。商品開発から生産、販売まで一貫して行い収穫から販売までの時間が短く、「超高鮮度」なレタスを「いつでも」、お客さまの食卓へお届けできます。

また、同所の使用電力は再生可能エネルギーを使用し、脱炭素社会へ向けてクリーンエネルギー100%による工場運営を目指しています。

◎新たな「食」の提案から、環境課題解決に貢献～「BEYOND MEAT(ビヨンドミート)」

「BEYOND MEAT®」は、代替肉として世界的に有名な米国カリフォルニア州の BEYOND MEAT, INC.(以下「ビヨンド・ミート社」)の植物性代替肉で、えんどう豆のたん白質を主原料とし「味や食感はまさに肉！」と米国でも人気の商品です。

U.S.M.Hは、「ビヨンド・ミート社」と日本における独占販売契約を締結し、同社商品を「Green Growers」の商品として展開。BEYOND BEEF®(1ポンド、ハーフサイズ)とそのデリカ商品を、グループの各店舗で販売しています。代替肉が注目を得られ始めた日本市場でおいしさや食べ方をお伝えすることや、良質なたん白質の摂取による健康の実現、環境問題の解決など、商品を通して社会に貢献することを目指しています。



◎物流課題への挑戦～マルエツ・カスミの共同 DC 「U.S.M.H 八千代グロサリーセンター」～

2023年9月、U.S.M.H グループ初の共同物流センターを千葉県八千代市に開設しました。将来にわたる持続可能な物流体制を構築するとともに、物流の「2024年問題」を見ずして車両の効率活用に取り組むべく、庫内では、自動化・省人省力化に寄与する最新設備やマテハン機器を多数導入し、実店舗向けリテール DC のオートメーション化に挑戦。構内作業、店舗配送業務、店舗オペレーションの最適化を進めていきます。さらに、IOT 技術を活用しながら業務プロセスを可視化し、さまざまな物流情報を分析、物流 DX の取り組みを推進しています。



◎店舗の取り組み～再生可能エネルギー化、地域防災拠点としての機能

U.S.M.H グループのマルエツ、カスミ、マックスバリュ関東の店舗で使用する電力を、再生可能エネルギーで調達する取り組みも進み、現在 34 店舗で太陽光発電設備を導入しています。

こうした中、2024年3月29日(金)にオープンした「フードスクエアカスミ東茂原店」では、店舗で使用する電力を 100%再生可能エネルギーで運営しています。太陽光発電により電気をつくり、電気の使用量削減を行うほか、蓄電池装置により地域停電の際も最大 72 時間の電力を供給し、地域の防災拠点としても機能して参ります。



問い合わせ先: 広報IR 瀧澤、竹内(TEL:03-3526-4769)
以上



ユナイテッド・スーパーマーケット・ホールディングス株式会社

〒101-0029 東京都千代田区神田相生町1番地

Tel.03-3526-4761